

平成18年度グリーン物流パートナーシップ推進事業の取り組み

平成18年2月15日

平成17年度に国土交通省及び経済産業省で創設された「グリーン物流パートナーシップ会議」は、荷主と物流事業者の協働によるCO₂排出削減の取り組みを支援し、物流のグリーン化を促進しています。平成18年度は、「モデル事業」に加え、新たに「普及事業」の募集が開始され、補助金額も拡大されました。

当社は「環境にやさしい鉄道貨物輸送がCO₂排出削減のお手伝いをいたします」をキャッチフレーズに、荷主企業及び利用運送事業者等と協働して、これらの推進事業に積極的に参加していきます。

1. 推進事業の概要

平成18年度は新規性のある「モデル事業」に加え、CO₂排出削減の取り組みを普及・拡大するための「普及事業」が新設され、平成18年1月30日～3月13日までの間、募集が行われています。

(1) 普及事業の補助制度

CO₂削減に繋がる物流システムの構築に必要な追加的経費に対して1/3、1事業あたり上限5億円（補助金総額30億円程度）

(2) モデル事業の補助制度

補助対象経費の1/2、1事業あたり上限1億円（補助金総額9.8億円）

2. 推進事業への取り組み

(1) ホームページ及び広報誌等により、「グリーン物流パートナーシップ会議」並びに「推進事業」のPRを行います。

(2) 利用運送事業者と連携して、荷主企業の皆様に推進事業（モデル事業・普及事業）への参加を働きかけています。

3. 平成17年度の取り組み実績

モデル事業の「鉄道へのモーダルシフト」分野で10件、「輸送の共同化・温度管理物流」分野で2件の推進決定を受け、このうち、5件に対して総額約1億3,600万円の補助金の交付が決定しています。